

平成26年度 除排雪事業の主な取組みについて

建設部道路維持課

○一般の除排雪作業

1. 間口除雪軽減事業(新規)

取組内容 : 生活道路での寄せ雪軽減の効果検証のため、サイドシャッター装置装着を希望する受注者へ導入費の補助を行う。

導入台数 : 新規2台

除雪距離 : 30km(既存5台分含む)



2. 追従除雪(拡大)

取組内容 : 除雪ドーザにロータリー除雪を追従させることにより、ボトルネック箇所での早期解消と道路幅員の確保を図る。

除雪距離 : 612km(参考:H25実績290km)

除雪頻度 : 原則一般除雪の3~4回に1回



○ソフト対策

1. 町会雪置き場事業(拡大)

取組内容 : 住宅密集地の空き地を雪置き場に有効活用することにより、排雪回数の削減と作業時間の短縮を図る。

H25実績 : 17箇所、約6,000㎡



2. 新除雪管理システムの実証実験(新規)

取組内容 : GPS機能を除雪車両に搭載することにより、除排雪作業の適正管理と、除雪状況の見える化を図る。

搭載台数 : 20台

試験公開 : ひろさき便利マップ



【ひろさき便利マップ】

平成26年度 融雪等の取組みについて

スマートシティ推進室

○平成26年度道路散水等融雪設備導入事業

1. 道路散水融雪

(1)愛宕町会

路線名 : 市道賀田・新岡線
整備延長 : 172m(平均幅員約6.5m)
融雪方法 : あたご温泉排水利用による散水融雪



2. 雪置き場利用雨水貯留施設における散水融雪

(1)川先1丁目地内(本整備)

施設名 : 小比内雨水貯留施設
融雪方法 : 地下水による散水融雪



(2)大清水4丁目地内

施設名 : 大清水雨水貯留施設
融雪方法 : 地下水による散水融雪

3. 都市公園における雪対策

(1)桜ヶ丘4丁目地内

施設名 : 桜ヶ丘中央公園
融雪方法 : 桜ヶ丘温泉排水利用による融雪槽及び消融雪溝

○雪対策実証研究業務

1. 道路散水融雪リレー運転

(1)松原東4丁目地内

路線名 : 市道松原東4丁目2号線ほか
整備延長 : 約340m(平均幅員約6.0m)
融雪方法 : 地下水による散水融雪
実験内容 : 散水融雪の交互運転することによる、融雪効果及びサイクルタイムの解析と検証を行う。このことにより、地下水の使用抑制と掘削井戸に掛かる経費削減の可能性を実証研究するものである。



2. 建物の換気排熱利用による融雪

(1)市立病院敷地内

施設名 : 市立病院
融雪方法 : 病院の換気排熱利用による歩行者通路融雪
実験内容 : 市立病院の換気排熱を調査・解析し、市立病院の排熱を利用した融雪の実証研究するものである。